

わたしたちのまちの報告書



「わたしたちのまちの報告書」は、市が実施した主な事業をわかりやすくまとめた報告書です。この報告書には、令和4年度に市が実施した事業から、特にPRしたい事業をピックアップし、事業概要を写真とともに掲載しています。

市循環バスは、もともと市内公共施設を中心に巡るバスとして運行してきましたが、市民ニーズやアンケート調査結果などを踏まえ、より生活に密着した利便性の高い公共交通をめぐらし、令和5年2月から、市循環バスルートの一部変更するとともに、新たな制度などを導入しました。



ピックアップ 市域を越えたコミュニティバス運行

市循環バスルート変更事業——決算額2300万円

乗り継ぎ券見本

市役所と 福祉センター前で 発券	のりつぎ券	23.02.01
	西 A	10:16
大阪狭山市循環バス		

バスルートの変更について、具体的には、現行の西・北回りを新たに「西回り」「北回り」に分割し、「西回り」は北野田駅前、「北回り」は、黒山警察署にも近い堺市美原区役所前へ接続することで、市域を越えたコミュニティバスの運行は先進事例となりました。

また、新たな制度として、「市役所」と「福祉センター前」の停留所で乗り継ぎ券を発券し、ほかのルートへの乗り継ぎが追加料金なしで可能となる「乗り継ぎ制度」や、どのバス停から何回乗車しても1日300円で市循環バスが一日中利用できる「さやりん1dayバス」の導入、さらには、大阪府内で運行するコミュニティバスとしては初めて、環境負荷の低減をめざした電気バスを導入しました。

新たなバスルートを生かして、まちの魅力の再発見や生活スタイルに合わせた利用、運転免許証返納後の交通手段として、市循環バスをさらに活用してください。



さやりんポイントで生活支援と地域活性化

地域ポイント発行事業——決算額3億1901万円
 地域ポイント促進事業——決算額8397万円



新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響を踏まえ、市民生活や市内事業者への支援および地域経済の活性化を目的に、地域ポイント事業を実施しました。

第1弾事業の「地域ポイント発行事業」では、市内加盟店で使用することができる5000円相当分のポイントを付与した「さやりんポイントカード」を配布しました。

第2弾事業の「地域ポイント促進事業」では、スマートフォンアプリ「chica」にさやりんポイントをチャージした場合に、40%分のさやりんポイントを追加で付与するプレミアムチャージキャンペーンを実施しました。

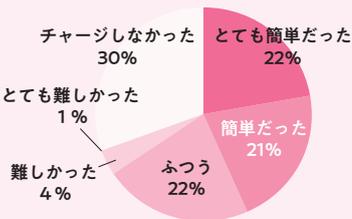
また、ポイントの利用期間にあわせて、市役所、市立コミュニティセンター、さやま荘でスマートフォンアプリ「chica」のインストールなどを支援するサポート窓口を設置しました。

ポイントの使用率については、第1弾事業が92%、第2弾事業が98%と、いずれも高い使用率であったことから、市内の加盟店や市民の事業に対する認知度が向上するとともに、地域内での販売促進のツールとして、消費活動の活性化につながったと考えています。

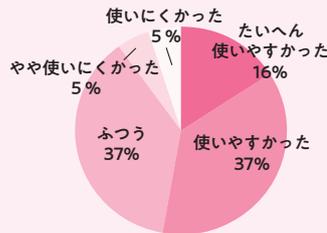
今後も、地域ポイント事業が市民の皆さんにとって利用しやすく、かつ持続可能な仕組みとなるよう、市内事業者と連携しながら取り組んでいきます。

さやりんポイント利用者アンケートの結果

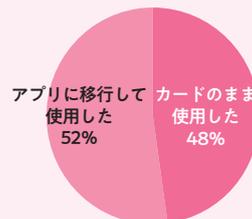
さやりんポイントのチャージ利用について



さやりんポイントの使い勝手は

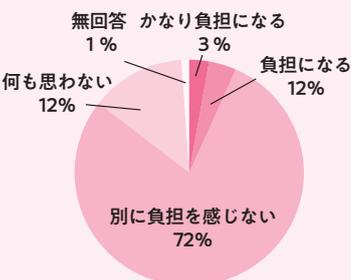


さやりんポイントの使用について

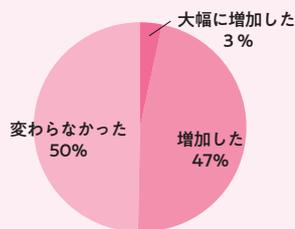


さやりんポイント加盟店向けアンケートの結果

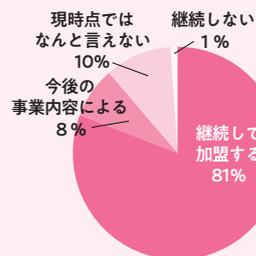
決済など、店舗側の負担について



実施期間中、売上への影響について



さやりんポイントを継続する場合、加盟するか



アンケートは令和5年3月1日～3月20日実施

将来のまちの姿、持続可能な公共施設のあり方を検討

公共施設等総合管理計画推進事業——決算額761万円

市では、様々な公共サービスを提供する場として、これまで多くの公共施設を整備してきましたが、その多くは老朽化により更新時期を迎える状況となっています。

一方で、人口減少・少子高齢化といった人口構成の変化や公共施設に対する市

民ニーズの変化など公共施設を取り巻く状況も大きく変化していることから、今後の公共施設のあり方について検討することが喫緊の課題となっています。

このような課題に対応するため、本市では「大阪狭山市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設マネジメントの取り組みを進めているところです。また、同計画で掲げる公共施設の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針などを踏まえ、施設や機能（公共サービス）の提供が持続可能となるよう、中長期的な視点から公共施設の再配置を推進するための基本的な考え方を示すことを目的として「大阪狭山市公共施設再配置方針」を策定しました。

公共施設の再配置の取り組みを進めるためには、市民の皆さんの理解が不可欠であり、再配置により、実現される「将来のまちの姿」を共有していくことが重要だと考えます。

今後も、検討経過などについて積極的に情報発信を行うとともに、意見募集やタウンミーティングの開催などを通して、行政と市民の皆さんが問題意識を共有し、相互理解に努めて取り組みを進めていきます。



スポット型空調機の設置で熱中症リスクを軽減

総合体育館熱中症対策事業——決算額3088万円



地球温暖化による気温上昇に伴って、総合体育館では室温が上昇し、利用者の熱中症リスクが増大していました。

利用者が安全で快適な環境のもとでスポーツに取り組みやすいよう、大型のスポット型空調機をメインアリーナに6台、サブアリーナに3台、武道場に1台、合計10台設置しました。

スポット型空調機の運転時には冷房とともに除湿も行うため、高い熱中症予防効果が得られると考えています。

メインアリーナにおいては、バドミントンコートが片側4面あり、スポット型空調機を片側3台設置しましたが、スポーツ活動においてスポット型空調機から放出された冷風の影響を最小限にするため、冷風が各コートの間を通るように機器を配置しました。

メインアリーナやサブアリーナでは利用状況に応じて各機器が個別に運転可能です。バドミントンやインディアカなど風の影響を受けやすい競技については、利用しているコートと逆側を稼働させるなど、施設管理者が利用者と相談しながら利用できます。

総合体育館は、市の指定避難所の1つであることから、万が一、夏期に災害が発生し、避難所として開設した際は必要に応じて機器を運転します。

地方税共通納税システム対象税目拡大に対する事業

(1,840万円)

納税者の利便性の向上を図るため、地方税共通納税システム対象税目拡大に対応する地方税ポータルシステム(eLTAX)を通じ、スマートフォンアプリ決済や、クレジットカードなどによる電子納付が可能となる二次元バーコードを納付書に付するためのシステム改修を行いました。



農業用施設整備事業

(2,942万円)

池尻北一丁目地内において、老朽化により水路壁の傾きなどが生じ、流下機能が著しく低下している農業用排水施設の機能の回復と、水路壁倒壊による災害の未然防止、また、水路上部の歩行空間を目的とした測量設計業務および整備工事を行いました。



成年後見制度利用促進事業

(418万円)

成年後見制度の理念に沿った利用促進を図るため、制度の周知や申し立ての支援を行う窓口を新しく開設しました。



まちの活性化推進事業

(2,190万円)

近畿大学病院等の移転跡地と府営狭山住宅の集約建替事業に伴う活用地などが狭山ニュータウン地区の再生と市の発展に寄与する土地利用となるよう、今後の検討の際の基礎資料とするため土地利用需要調査を実施しました。あわせて近畿大学病院等の移転跡地について、近畿大学と連携して近畿大学病院等跡地活用官民連携方策検討調査を行い、3つの土地利用ゾーニング案を取りまとめました。



文化会館施設長寿命化事業

(3,444万円)

施設内の衛生環境の改善を図るため、既存の和式便器を温水洗浄機能と温便座付きの洋式便器に、障がい者用トイレをオストメイト対応の多機能トイレに改修しました。



AI 議事録作成支援システム導入事業

(539万円)

市の各種会議の議事録作成を効率化するため、AI 議事録作成支援システムを導入しました。



避難所地震解錠ボックス設置事業

(230万円)

大規模災害などが発生した場合、市職員が避難所を開設するまでに一定の時間を要することから、避難所に地震解錠ボックスを設置し、その中に、避難所、防災倉庫の鍵を保管し、市民が少しでも早く避難できる体制を構築しました。



街頭防犯カメラ設置事業

(375万円)

防犯環境の充実を図り、犯罪がなく、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、市内主要駅などの不特定かつ多数の人が利用する公共的な場所に街頭防犯カメラを設置しました。



生涯学習推進事業

(39万円)

「大阪狭山市生涯学習推進計画」の策定を機に、これから10年先に向けて、市民が「生涯学習とは何か」、「なぜ学びが必要なのか」を知る機会とし、学びを地域に展開するきっかけづくりや、学びを通じたネットワークをつくるため、生涯学習フォーラム「まちごとラボ」を開催しました。



令和4年度事業 ピックアップ

小・中学校給食費無償化事業 〈1億1,135万円〉

直面する物価高騰などに対する保護者への緊急支援として、令和4年9月～令和5年3月の7か月間、学校給食費を無償化しました。



特定健康診査受診勧奨事業 〈331万円〉

国民健康保険に加入する40歳以上の特定健診受診者と、市が費用の一部を助成した人間ドック受診者に対し、健康管理についての知識を深め、継続した受診の重要性を認識してもらうため、過去3年間の健診結果に基づいたアドバイス冊子と、1,000円分のQUOカードを進呈しました。 ※30歳代の人間ドック受診者にはQUOカードのみ進呈



保育所等整備事業 〈2億1,571万円〉

安全で快適な保育環境の確保と地域の保育・教育提供体制の充実を図るため、定員100人の保育所、「夢の実保育園」の開園に向け、新たな施設整備の補助金を交付しました。



伴走型相談支援事業 〈178万円〉

妊娠届出時や妊娠8か月ごろ、出産後に、出産・育児などの見通しを立てるための面談や、継続的な情報発信などを行い、妊娠中から出産、子育てまで、身近で寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援体制を構築しました。



新デザインマンホールふた製作事業 〈75万円〉

市制施行35周年を記念して募集したマンホールふたデザインの中から最優秀賞作品を決定し、大阪狭山市産業まつりの際に授賞式を行いました。また、最優秀賞作品は実物のカラーふたを製作し、市内3箇所に設置しました。



市民に開かれた議会の推進事業 〈30万円〉

市議会では、より一層開かれた議会の実現と議会への市民参加を促進するため、これまでの録画映像配信に加え、インターネット(YouTube)を活用し、一般質問などの議会本会議の生中継を開始しました。



出産・子育て応援事業 〈4,556万円〉

核家族化や地域でのつながりの希薄化により、孤立感や不安を抱く妊婦、子育て家庭が増えている中で、すべての妊婦や子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境をめざし、出産応援ギフト(妊婦1人5万円)、子育て応援ギフト(子ども1人5万円)を支給しました。



運転免許証自主返納支援事業 〈59万円〉

高齢ドライバーによる事故を未然に防ぐため、運転免許証を自主返納した市内に住んでいる75歳以上のドライバーに対し、返納後の生活で公共交通機関を利用しやすいよう、交通系ICカード「ICOCA」5,000円分を補助する制度を創設しました。



住宅用再生可能エネルギー等設備導入費補助事業 〈290万円〉

地球温暖化対策における市民の積極的な取り組みを促進するため、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムや家庭用リチウムイオン蓄電池システムを設置した市民に対し、その一部を補助しました。

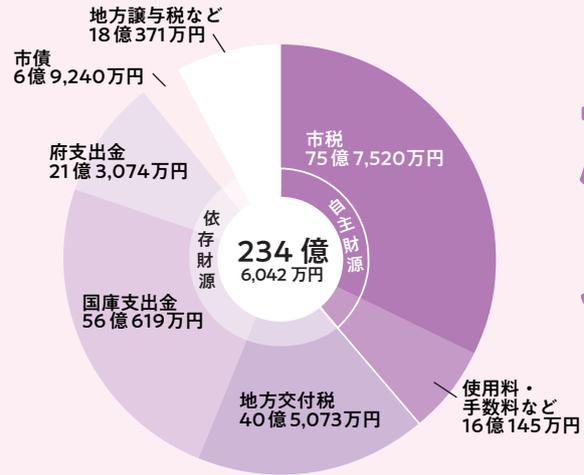


決算公表

詳しくは、市ホームページに掲載しています ▶▶▶



歳入



一般会計の歳入の総額は234億6,042万円でした。依存財源である国庫支出金は、56億619万円と昨年度に比べ減少する一方で、コロナ禍からの景気回復などにより、主要な自主財源である市税が増加したことや前年度からの繰越金が多額であったことなどにより、歳入総額では前年度より7,079万円増加しました。

(参考) 令和3年度内訳 ●市税：74億5,445万円 ●使用料・手数料など：9億2,317万円 ●地方交付税：38億5,951万円 ●国庫支出金：63億7,228万円 ●府支出金：19億2,960万円 ●市債：10億8,160万円 ●地方譲与税など：17億6,902万円

一般会計と特別会計

[単位：円]

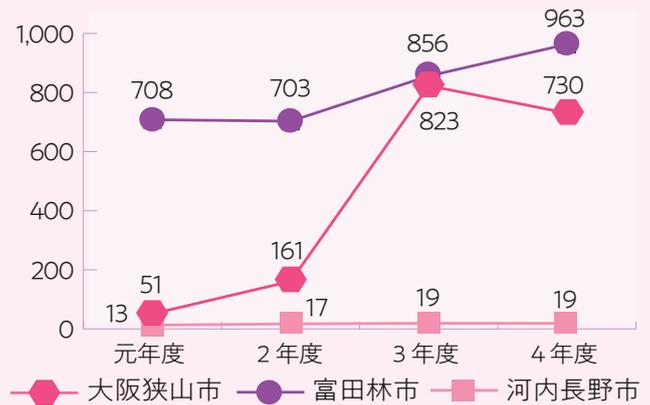
区分	歳入合計 (A)	歳出合計 (B)	差引 (A - B)
一般会計	23,460,422,351	22,692,808,839	767,613,512
特別会計			
国民健康保険	6,541,200,407	6,384,424,163	156,776,244
介護保険	5,574,234,533	5,424,228,659	150,005,874
後期高齢者医療	1,165,443,031	1,118,404,665	47,038,366
池尻財産区	16,663,776	16,663,776	0
半田財産区	2,857,114	2,857,114	0
東野財産区	2,063,684	2,063,684	0
今熊財産区	67	67	0
岩室財政区	1,919,134	1,919,134	0
茱萸木財政区	8,500	8,500	0
特別会計計	13,304,390,246	12,950,569,762	353,820,484
合計	36,764,812,597	35,643,378,601	1,121,433,996

一般会計は、地方公共団体の会計の中心となるもので、基本的な行政運営経費を経理しています。特別会計は、特定の事業の歳入と歳出を一般会計とは区別して、個別に経理する会計です。

実質収支

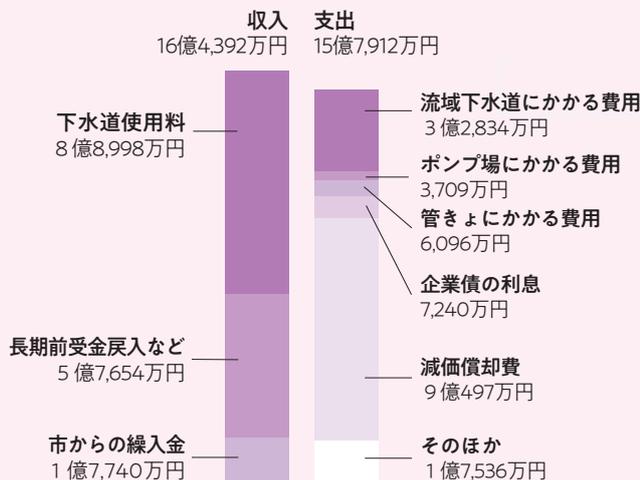
実質収支とは、歳入合計と歳出合計の差引から翌年度へ繰り越すお金を差し引いた実質的な収支です。

[単位：100万円]



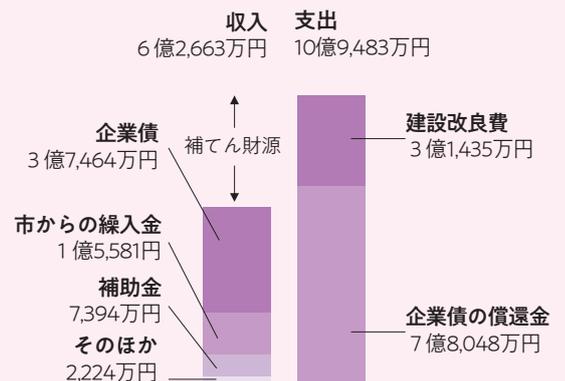
令和4年度下水道事業決算

問い合わせ 経営総務グループ ☎366-0011



収益的収支(維持管理などの決算)

令和4年度末の下水道の整備が完了している面積は880.13ha、年間有収水量は604万2,187m³で前年度に比べ10万1,948m³の減少となりました。決算の概要は下図のとおりです(消費税込み)。なお、資本的収支の不足額は、消費税資本的収支調整額1,530万円、損益勘定留保資金4億5,290万円で補てんしました。

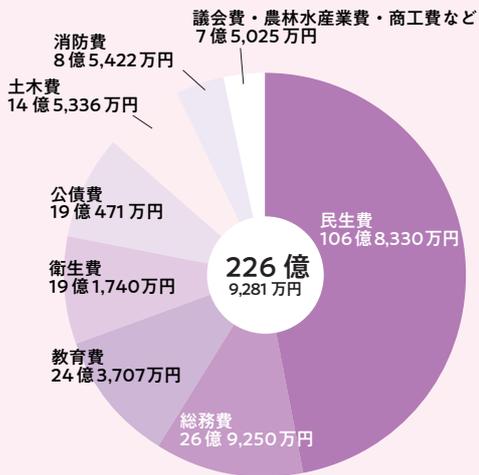


資本的収支(建設投資などの決算)

令和4年度

問い合わせ 行財政マネジメント室 ☎ 366 - 0011

歳出



一般会計の歳出の総額は226億9,281万円でした。ワクチン接種事業(衛生費)や子育て世帯への臨時特別給付金(民生費)が減少した一方、さやりんポイント事業(商工費)の開始や小・中学校の給食費補助金(教育費)などが大幅に増加したことにより、歳出総額は前年度より1億3,754万円増加しました。

(参考) 令和3年度内訳 ●民生費:112億980万円 ●総務費:25億9,533万円 ●教育費:22億4,750万円 ●衛生費:19億8,853万円 ●公債費:18億3,639万円 ●土木費:13億1,841万円 ●消防費:8億3,635万円 ●議会費など:5億2,296万円

財政の健全度を判断する指標

平成19年6月に定められた地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、地方公共団体は毎年、健全化判断比率(4つの指標)を公表しています。下水道事業会計については、資金不足比率を公表しています。

健全化判断比率

市は下表の4つの指標すべてで早期健全化基準と財政再生基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。4つの指標(下表①~④)のいずれかが早期健全化基準を超えると早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、自主的な改善努力による財政の健全化に取り組むことになります。さらに比率が悪化し、財政再生基準を超えると財政再生団体となり、財政再生計画を策定し、国などの関与による確実な財政の再生に取り組むことになります。

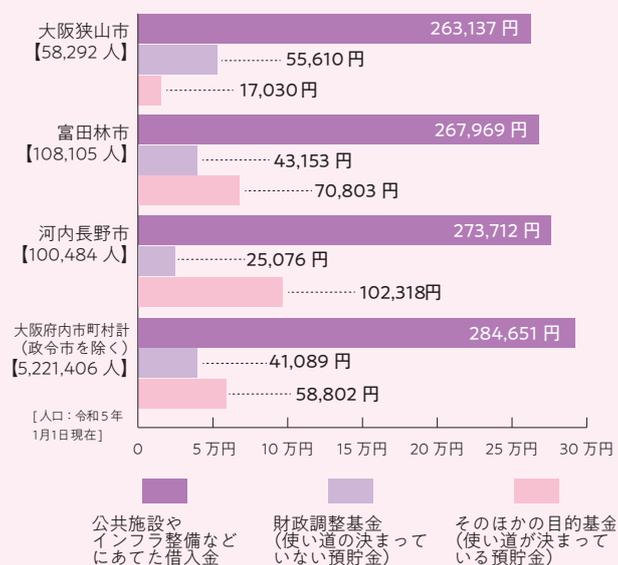
健全化判断比率	大阪狭山市の状況	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	該当なし(△5.67%)	12.96%	20.00%
②連結実質赤字比率	該当なし(△11.84%)	17.96%	30.00%
③実質公債費比率	3.7%	25.00%	35.00%
④将来負担比率	該当なし(△19.97%)	350.00%	

資金不足比率

資金不足比率とは、資金不足額を事業の規模と比較し、経営の深刻度を示すもので、資金不足比率が経営健全化基準(20%)を超えると、経営健全化計画を策定しなければなりません。市の下水道事業会計は資金不足を生じていないため、資金不足比率は該当ありません。

資金不足比率	下水道事業会計
事業規模① [千円]	884,373
資金不足額②	—
資金不足比率②/①	該当なし
経営健全化基準 [%]	20.00

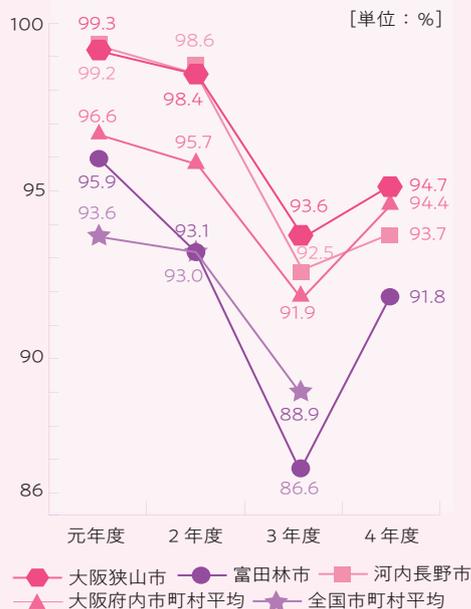
市民1人あたりの借入金と預貯金



財政の弾力性を判断する指標

経常収支比率

経常収支比率とは、毎年支出しなければならない経費(経常的経費)に対し、毎年決まって入ってくる収入(経常的収入)をどの程度あてているかを見る比率です。この比率が高くなるほど、新しい事業や公共施設の整備などのお金が少なくなり、財政運営は厳しくなります。





市章の由来

全体で、「さやま」の「さ」を表し、上の山形を「山」としています。下の円は、大阪狭山市民が「みんな仲良く」という意味です。そして、全体の感じとして大鵬の羽ばたくように、未来に向かって大きく進んでいく大阪狭山市の姿を表しています。

about 大阪狭山市

(令和5年3月31日現在)

- 位置 東経135度33分
北緯34度30分
- 広ぼう 東西2.4km 南北7km
- 高度 最高162m 最低52m
- 面積 11.92km²
- 人口 5万8,118人
- 世帯 2万6,315世帯
- 包括連携協定締結企業
帝塚山学院大学、大阪第一交通(株)、南海電気鉄道(株)、大塚製薬(株)、近畿大学、第一生命保険(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、市内郵便局、大阪府立狭山高等学校

ふるさと納税 人気の返礼品 BEST 5

令和4年度にふるさと応援寄附金として、総額1,965万4,000円の寄附をいただきました。寄附金は、5月の大型連休や年末年始などにおける市内の休日診療体制の充実、強化などに活用しました。そのほか、指定のあった使いみちに沿った基金へ積み立てるなど、市の発展に役立てます。

1 大野ぶどう(デラウェア)

2 PET/CTがん検診コース

3 たんぽぽポップコーン Bセット

4 大野ぶどう (シャインマスカット)

5 段ボール満タン! お任せパンセット



まちの自慢、
「大野ぶどう」が
選ばれています

follow me!



Instagram やってます♪

季節に応じたフォトコンテストも開催しています
大阪狭山の魅力的な写真を撮って投稿しませんか

@osakasayama_official



大阪狭山市 特命大使

Osakasayamacity Special Ambassador



儀間太久実
口笛奏者



西山朋佳
女流棋士
将棋



西浦秀樹
歌手



半井重幸
Bboy Shigekix
ダンサー



半井彩弥
Bgirl AYANE
ダンサー



室谷由紀
女流棋士
将棋



さやま未来プランナー



さやりん
市マスコットキャラクター

水・ひと・まちが輝きみんなの笑顔を未来へつなぐまち
～みんなでつくるおおさかさやま～



問い合わせ 企画グループ ☎366-0011